

他社を出し抜きたい  
企画担当者必見

3ケタ以上の案件を取りに行く。

2日間集中  
セミナー  
東京開催

# 徹底！ G空間データ マスタークラス

2018年6月25日(月)・26日(火)

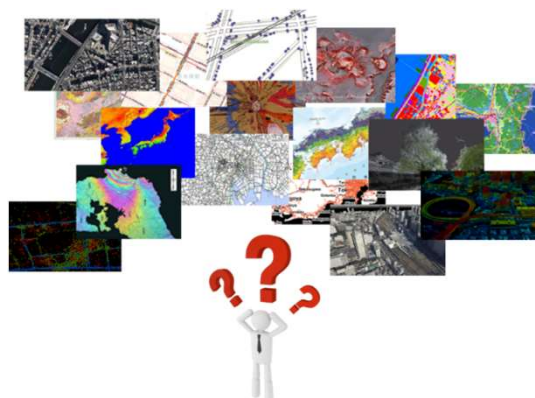
いつまで“もやっとプロポーザル”出しますか？

それとも発注者を唸らせる

“尖ったプロポーザル”を出しますか？

他では教えてくれない

一歩先のG空間データの活用エスプリを身に着ける、  
データサイエンティストに向けた年に1度の貴重な2日間です。



一般社団法人社会基盤情報流通推進協議会  
Association for Promotion of Infrastructure Geospatial Information Distribution



G空間情報センター

日付と顧客名を変えるだけの提案書を出し続けるくらいなら、

家で鋭気を養う方がまだマシです。

データリサーチに  
時間がさけない

発注者により具体的に  
見られるようにしたい

いつも突然振られる提案書作成に  
自分自身が満足できない。

いつも似たり寄ったりの  
提案書

発注者にグッと引きの  
強いコンテンツが欲しい

だからこそ

いかに発注者に刺さる提案書が書けるか

のポイントを学ぶ。

#### POINT 1

GIS(地理情報システム)ソフトを  
駆使したデータの“魅せ方”

一応GISは使えると言ってはいるけど、正直お試しレベル。

データの特徴をうまくハイライトした  
見せ方が出来ていますか？

提案書はハイスピード、ハイクオリ  
ティが必至。

データの特徴に応じてどこを強調  
したら良いのか、そのデータの“魅  
せ方”のテクニックを学びます。

#### POINT 2

たくさんあるからこそ、どんなデータをどうやっ  
て見つけるか

提案書を書く段になって慌てて  
データを検索。

結局提案書づくりの神は降りてこな  
いし、抽象的な感じでお茶を濁す  
自分にスッキリしない。

世に出ている“刺さる”データのラ  
インナップと最新のトレンドを知るこ  
とによって、すぐに「使える」データ  
で速攻提案のノウハウを学びます。



一般社団法人社会基盤情報流通推進協議会  
Association for Promotion of Infrastructure Geospatial Information Distribution

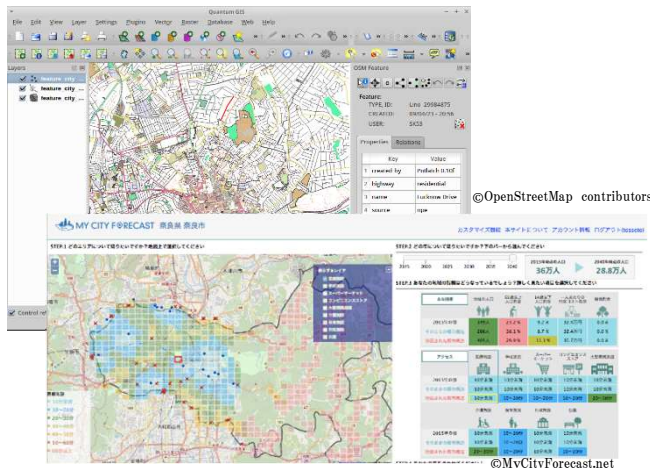


G空間情報センター

この2日間で、あなたは自分の「刺さり方」を見つけてください。

## 講座で習得できるラインナップ

### GISソフトウェア/アプリケーション編 データを扱う“使える”基本機能をマスターする。



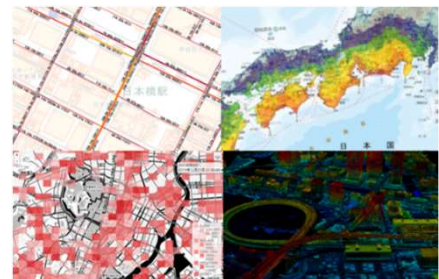
GISソフトと一口に言っても、色々な機能がありすぎて、**どれが使えてどれが使えないのかわからない**。背景地図の選び方とその配色のコントラスト、適切な縮尺での表示、見せたいレイヤのハイライト、凡例やテキストの大きさのバランスなど。そうした基本的な勘所から三次元やアニメーション表示などの高度な表現スキルを身につけます。

### データセレクト編

データバリエーションのカードを増やし、データの特徴を活かす“こなれテクニック”をマスターする。

交通分析なら、メッシュ人口、リンク交通量。環境分析なら、三次元都市空間データや気象データ。防災計画であれば、地震や河川・港湾のデータ。際限ない地理空間情報の種類は多岐にわたり、また各分野で国や研究機関が公開する無償データから民間企業が有償販売する商用データまで様々。

このような**データのそれぞれの特徴や利用可能範囲、コスト感**を身につけ、**普段から学習できるテクニック**を身につけます。



(左上) ©(株)ナビタイムジャパン:リンク別平均旅行速度データ  
(右上) ©内閣府中央防災会議首都直下地震対策専門調査会:地震動データA  
(左下) ©(株)ゼンリンデータコム:混雑統計@混雑度データ  
(右下) ©朝日航洋(株):good-3D・DSM点群データ

# カリキュラム

1日目	テーマ	講義内容	講師
13:30 ～ 14:30	政策立案者・発注者の ねらいを探るコツ	最新のデータトレンド／政策立案者が気にする事／ 提案書を読むポイント／データに精通する	関本義秀氏
14:30 ～ 17:00	GISソフトウェアをスムーズに使う テクニック	G空間情報センターの格納データを知る／QGISの 基本操作に慣れる	大伴真吾氏／ 瀬戸寿一氏
2日目	テーマ	講義内容	講師
10:00 ～ 15:30	データの特徴を掴み、使いこなす テクニック	三次元で可視化する／動く地図を作る／大きな データを快適に再利用する／APIを使って役立つ 仕組みを作成する／G空間情報センターから提供さ れているツールを使う	大伴真吾氏／ 瀬戸寿一氏
15:30 ～ 17:00	アイデアをアウトプットに変える テクニック	データ活用方法を整理する／受注者の求める形を 表現する／あっと言わせるプレゼンを作る	瀬戸寿一氏／ 大伴真吾氏

## 担当講師のご紹介



関本 義秀 氏

(一社)社会基盤情報流通推進協議会 代表理事。東京大学生産技術研究所 准教授。総務省地域情報化アドバイザー。



大伴 真吾 氏

社会基盤情報流通推進協議会 理事。(一社)地理情報システム学会GIS資格認定協会 幹事長。(公財)日本測量調査技術協会 地理情報標準認定制度講習・試験委員会 委員長。



瀬戸 寿一 氏

東京大学 空間情報科学研究センター 特任講師。総務省地域情報化アドバイザー。国土地理院測量行政懇談会 臨時委員。

## 講座概要

- 開催日程:2018年6月25日(月)～ 26日(火) ●受講定員:20名
- 受講料金:50,000円(税込) \*2日間分の合計金額となります。
- 講義会場:東京大学駒場第二リサーチキャンパス(As棟中セミナー室5)
- 受講対象:地理空間情報を使った提案・開発を行っているシンクタンク、コンサルタント、測量、システム開発、研究等に携わる方

<お持ち頂くもの>

「QGIS Version2.18」とブラウザがインストールされたノートパソコンとマウス ※<https://www.qgis.org/ja/site/forusers/download.html>  
※講義はWindowsで行います。またブラウザはFirefoxかGoogleChromeをご準備ください。WiFi環境は提供予定です。Mac等での受講も可能ですが、動作保証は致しかねます。



## お申込み

- Peatixよりお申込みください。PCから→ <http://geospatial-masterclass01.peatix.com>
- 6月22日(金)15時までにお申し込み及び受講料金の決済完了をお願いします。
- \*上記以外の申し込み方法をご希望の方は、[office@aigid.jp](mailto:office@aigid.jp) までお問合せください。



Peatixお申込みサイト

主催:一般社団法人社会基盤情報流通推進協議会(AIGID)

共催:東京大学空間情報科学研究センター「G空間宇宙利用工学」社会連携・寄付研究部門、  
東京大学生産技術研究所関本研究室

後援:一般社団法人地理情報システム学会(予定)、OSGeo財団日本支部(予定)

